

平成26年3月議会第2委員会
報告資料別冊

こども未来局

公募時の提案を踏まえた科学館の施設展開イメージ

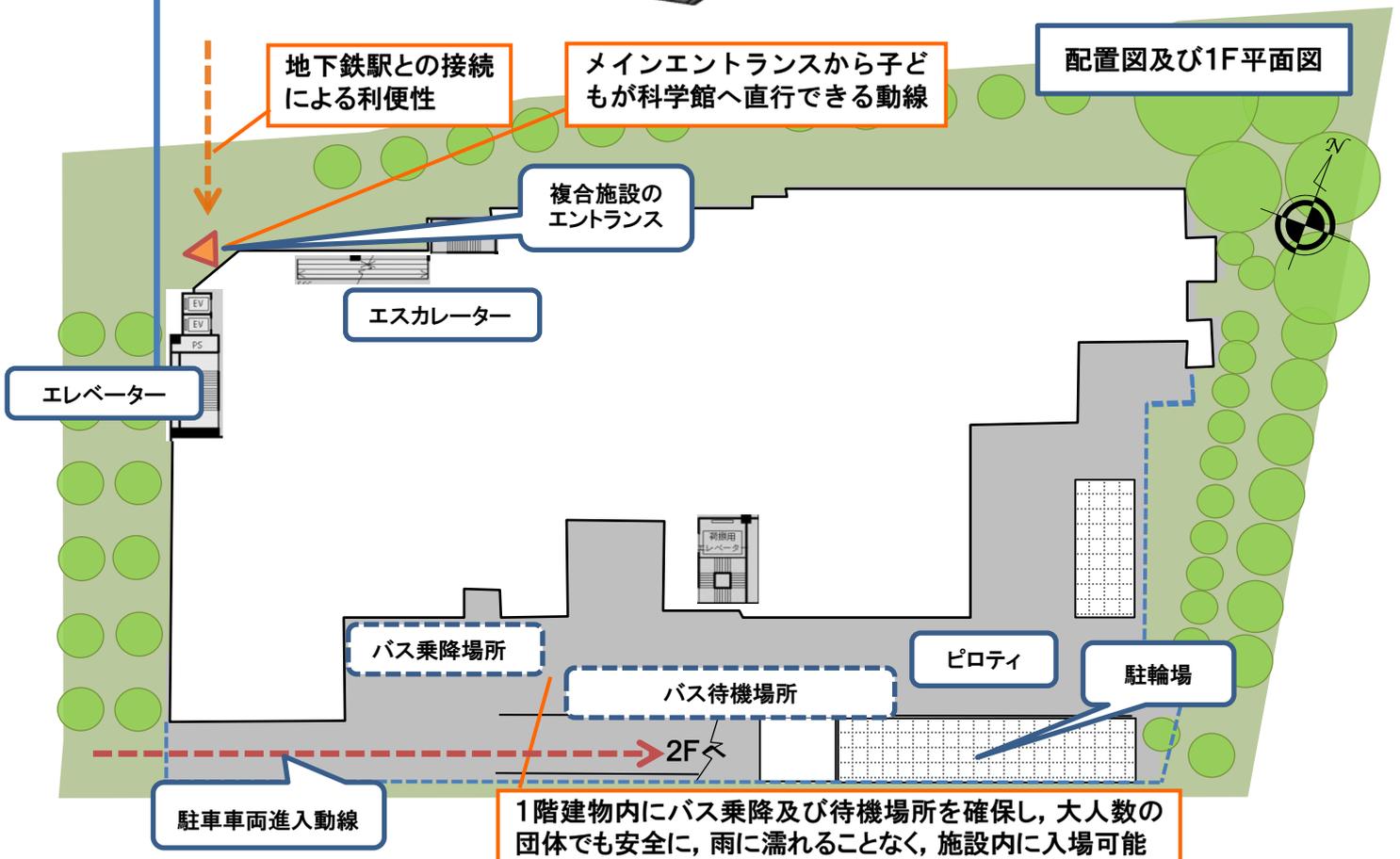
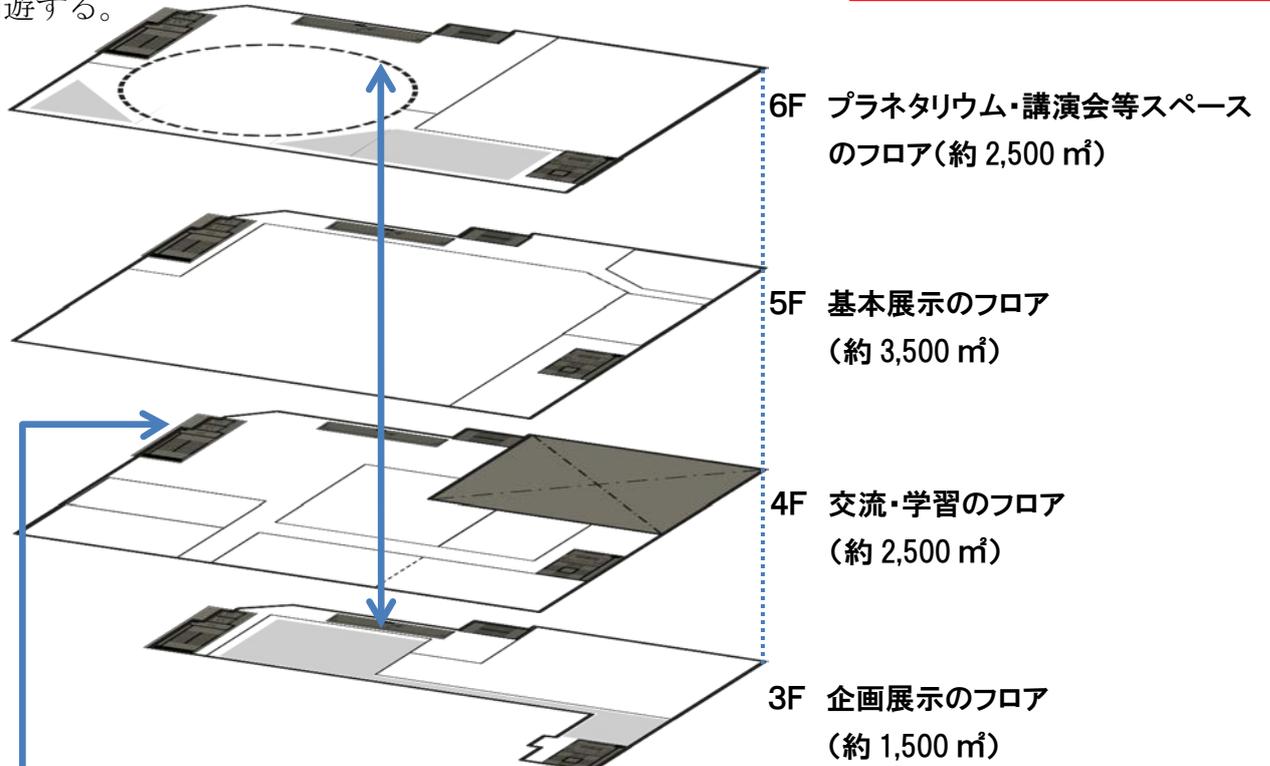
1. 全体イメージ

科学館は複合施設の3階から6階までの4層に配置する。

4階部分に科学館のメインエントランスを設け、利用者は、エレベーターやエスカレーター、階段により、館内を回遊する。

※JRが提案した施設計画に基づき、市において諸室配置等を仮に配置したイメージ

※JRからの提案の概要とは一部異なります。

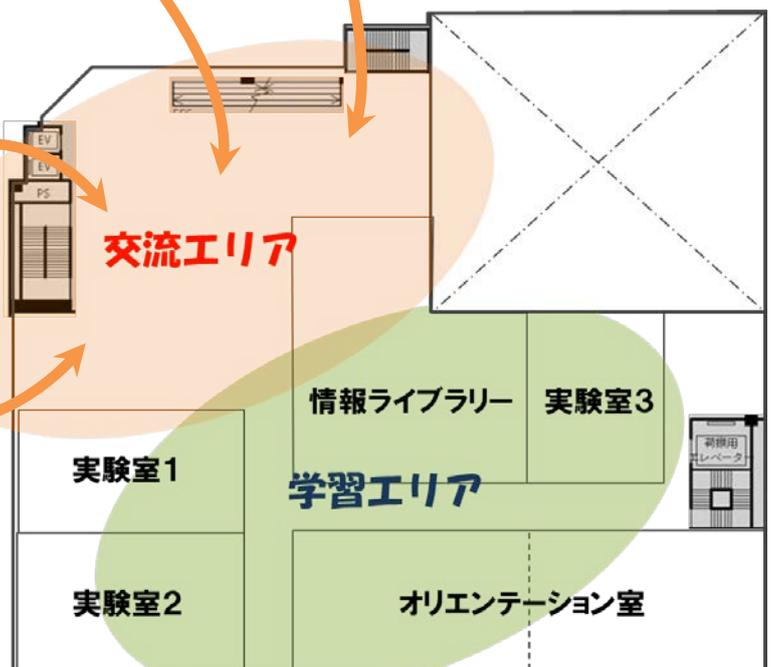


※JRが提案した施設計画に基づき、市において諸室配置等を仮に配置したイメージ

2. フロア展開イメージ

(1) 4階 交流・学習のフロア (エントランス, 実験室, 情報ライブラリー等)

- ・利用者が最初に訪れるフロアであり、科学館のメインエントラン스로ビーとなる交流エリアと、実験室や情報ライブラリーなどの学習エリアで構成する。
- ・フロア内は明るく開放的な空間とし、エントラン스로ビーには科学館の楽しさを象徴する導入展示 (ウェルカム展示) を設置する。
- ・ロビー内に交流ラウンジやミュージアムショップ, キッズコーナーを効果的に配し, 利用者が自由にくつろぎ, 交流できる場とする。
- ・学習エリアには, オリエンテーション室や実験室を集約し, 学校団体が使いやすい配置とする。



※JRが提案した施設計画に基づき、市において諸室配置等を仮に配置したイメージ

(2) 5階 基本展示のフロア

- ・基本展示やサイエンスショーなどを展開する、科学館活動のメインとなるフロアである。
- ・ワンフロア、約 2,500 m²の広い空間に、ワークショップスペースを備えた基本展示室をまとめて配置する。
- ・基本展示室は「科学の原理・法則（ワンダー）」、「生活（ライフ）」「創造性（クリエイティブ）」「未来（フューチャー）」の4つの展示テーマに沿ったたくさんのハンズオン展示装置やワークショップスペースを配し、ワクワク感を演出するとともに、いつ来ても楽しめる展示を展開する。
- ・ワンフロアの利点を生かし、「科学の原理・法則（ワンダー）」で原理・法則を展示し、それを応用した技術を「生活（ライフ）」など別のテーマで隣接させて展示し、行き来を可能とする連続性やストーリー性のある体験により、子どもたちの好奇心や学習意欲を引き出し、子どもたち自らが自発的に気づき、学びを深めていくことができるようにする。



- ・「創造性（クリエイティブ）」は、福岡らしい科学館の特徴となるテーマと位置付け、福岡のクリエイターやエンジニアなどとコラボレーションしながら、映像技術や音響技術を活用した双方向の展示を展開する。

創造性(クリエイティブ)をテーマとした展示の展開例

福岡市においては、人材や教育機関の集積等の特性を活かし、コンテンツ・クリエイティブ産業の振興を図っており、福岡を拠点として全国的に活動するクリエイターやエンジニアも少なくない。

ここでは、これらの人材とコラボレーションし、デジタル技術等を活用しながら、子どもの感性を刺激する展示を展開する。

※参考例

「遊べる！デジタルアート展～音とリズム、五感も踊る不思議体験～」(福岡県, 福岡市, アクロス福岡, 福岡市文化芸術振興財団主催)※写真は「九州大学シリアスゲームプロジェクト」ホームページから一部引用

同企画では、見て、聞いて、触って、実際に体験できるデジタルコンテンツの展示がいくつもあり、子どもたちは大はしゃぎ。直感的に理解できるインターフェースデザインやシステム構成によって、説明がなくても自ら展示物に触って、操作を理解。



身体を動かして、
五感を使って
自由に体験！



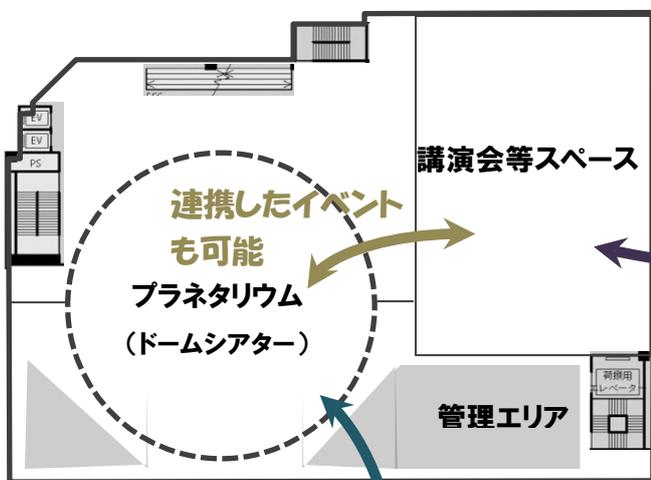
※JRが提案した施設計画に基づき、市において諸室配置等を仮に配置したイメージ

(3) 6階 プラネタリウム・講演会等スペースのフロア

- ・プラネタリウムと講演会等スペースで構成し、大人数で感動を共有することができる場とする。それぞれに必要なバックヤードとなる管理エリアを備える。
- ・プラネタリウムは国内有数の規模となる内径 25mの大型ドームを設置し、大型ドームの効果を十分に発揮できるハイクラスの投影システムを採用する。
- ・講演会等スペースは、企画展などと連携した講演会やセミナーを開催するなど、多目的に活用するとともに、講演会等で使用していない場合の一般への貸し出しを検討する。
- ・階段状でも平土間でも使用できる空間とし、客席数 300 席（700 m²）程度とする。
- ・プラネタリウムと講演会等スペースを同一フロアに配置することを活かして、双方の設備を活用した、映像をはじめとする様々な表現活動に関するイベントを企画実施する。

(プラネタリウムと講演会等スペースで連携したイベントの展開例)

- ・最新の天体現象に関する講演とプラネタリウムによる再現映像紹介
- ・プロジェクションマッピングなどの最新技術を使った映像を紹介するデジタルアートフェスティバル
- ・遊べるデジタルコンテンツによる大規模な子ども向け企画展



講演会等スペースの例
(埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ)



